

平成 26 年 10 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 イトーヨーギョー
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩
(コード番号 5287 東証二部)
問合せ先 管理部長 山本 貴士
(TEL 06-4799-8850)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表しました平成 27 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	981	△42	△40	△45	△15.08
今回修正予想(B)	1,005	△89	△85	△89	△29.81
増減額(B-A)	24	△47	△45	△44	—
増減率(%)	2.4	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	975	△55	△54	△57	△19.34

修正の理由

売上高につきましては、建築設備機器関連事業において、工事進行基準による売上高を含む、大型の公共事業案件 2 物件を売上計上したこと等により、当初計画を上回る見込みとなりました。

しかしながら、利益面におきましては、コンクリート関連事業において、本年 4 月の消費税率引上げを見越して前事業年度に多くの工事が完成されたこと。また、第 1 四半期から第 2 四半期前半においては、河川分野など当社製品にラインナップされていない分野の災害による復旧・修繕工事が優先的に行われたため、当社製品の中で特に付加価値が高い道路製品の売上高が低調に推移したこと。さらに、旧岡山製造所撤退後に残存しておりました在庫の評価損を、会計基準に則り製造原価に計上したこともあり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

これにより、当第 2 四半期累計期間の業績予想を修正するものであります。

なお、通期の業績予想につきましては、コンクリート関連事業におきましては、遅延している道路工事が進行する見込みであり、道路製品を中心に正式発注に向けた取引先からの照会や見積依頼などの引き合いが順調であること。また、「ドルフィンウォーターケア」「ヒュームセプター」等の環境対策製品においても、民間企業だけでなく公共事業やアジア圏に生産拠点を持つ日本大手企業からの照会が引き続き増加しております。建築設備機器関連事業におきましては、公共事業案件を中心に年度内完成予定の大型工事を受注するなど堅調に推移していることから、現時点では前回発表予想から変更いたしておりません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上